

10月4日に内橋克人氏の顕彰シンポ

神戸の生んだ経済評論家・ジャーナリストの内橋克人氏の功績を顕彰するシンポジウム「共生と平和のジャーナリスト・内橋克人の目指した地平」が10月4日、神戸ハーバーランドの神戸新聞松方ホールで開催される。

神戸新聞社主催。兵庫県立大、NHK神戸放送局後援。会場は三宮のアンカー神戸を予定していたが、応募多数のため、松方ホールに変更する。

内橋氏は1932年、神戸市須磨区生まれ。神戸商科大（現兵庫県立大）卒。神戸新聞記者を経て独立した。共生経済の可能性を追求し、食料、エネルギー、ケアが地域内で自給できる経済社会を指し示した。「匠（たくみ）の時代」など著書多数。神戸新聞客員論説委員も務めた。2021年9月、89歳で死去した。

会場を神戸・松方ホールに変更

シンポでは親交のあった元キャスター国谷裕子氏が基調講演。実弟内橋伸二氏のあいさつの後、東大名誉教授の神野直彦氏▽元NHKプロデューサー棚谷克巳氏▽元岩波書店編集者の高村幸治氏の3氏が内橋氏の人と思想について語り合う。司会は神戸新聞特別編集委員の加藤正文。

シンポは午後1時半開演。定員500人。参加無料、応募多数の場合は抽選。添付のQRコードから申し込む。9月24日締切。応募フォームは <https://form.kobe-np.co.jp/@uchihashi>。

神戸新聞社メディアビジネス局「内橋克人シンポジウム」係 ☎078・362・7077（平日午前10時～午後5時）



(2025年9月18日付け神戸新聞より)